

①
フィルム

聖徒たちと歩む聖書 ~9~
アブラハム その1

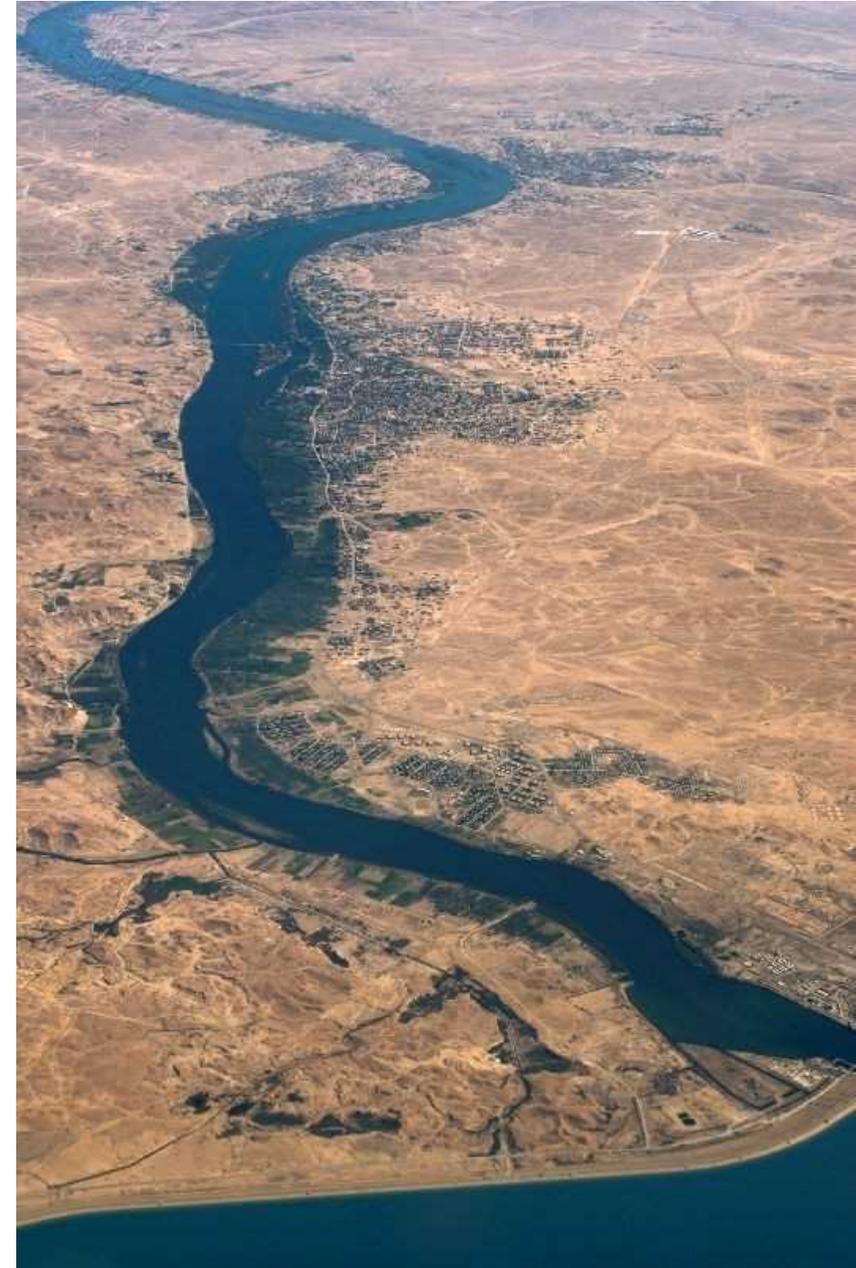
「あなたのために
行きなさい」

創世記12章 選びと約束



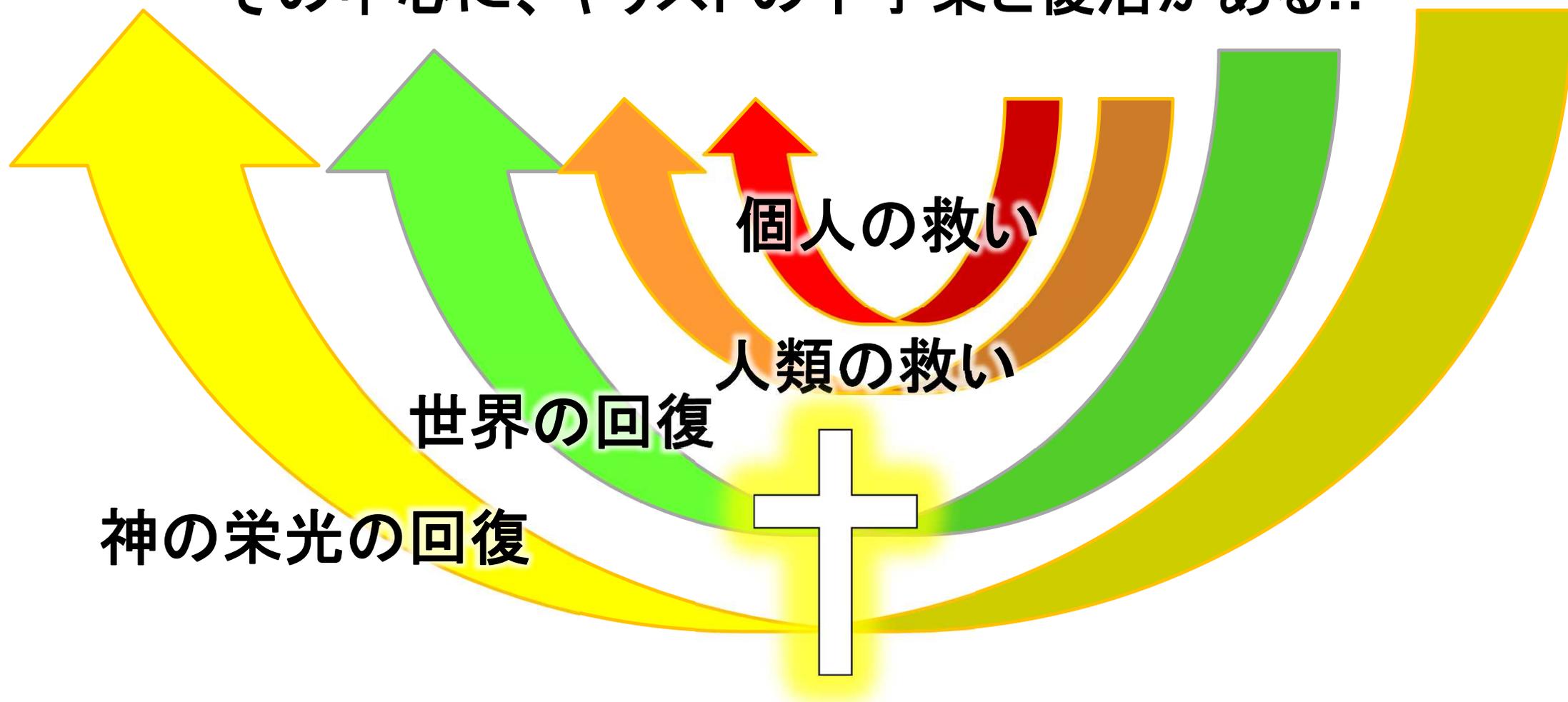
【今日のアウトライン】

- 0. エピローグ
- I. アブラハムの召命
- II. 約束の地で 最初の礼拝
- III. エジプトでの事件
- IV. まとめと適用
 - 主に従うとは？
 - 選びの民の使命と試練



聖書の最大のテーマは？ 【神の栄光の回復】

その中心に、キリストの十字架と復活がある!!



【創造主の祝福・エデン契約】

■ 神は、人類に、世界を委ねた。

■ しかし、人は、サタンにそそのかされ、
禁断の実を口にする罪を犯した。

■ 人は、地の統治権をサタンに奪われ、
神と断絶し、死と滅びに直面した。



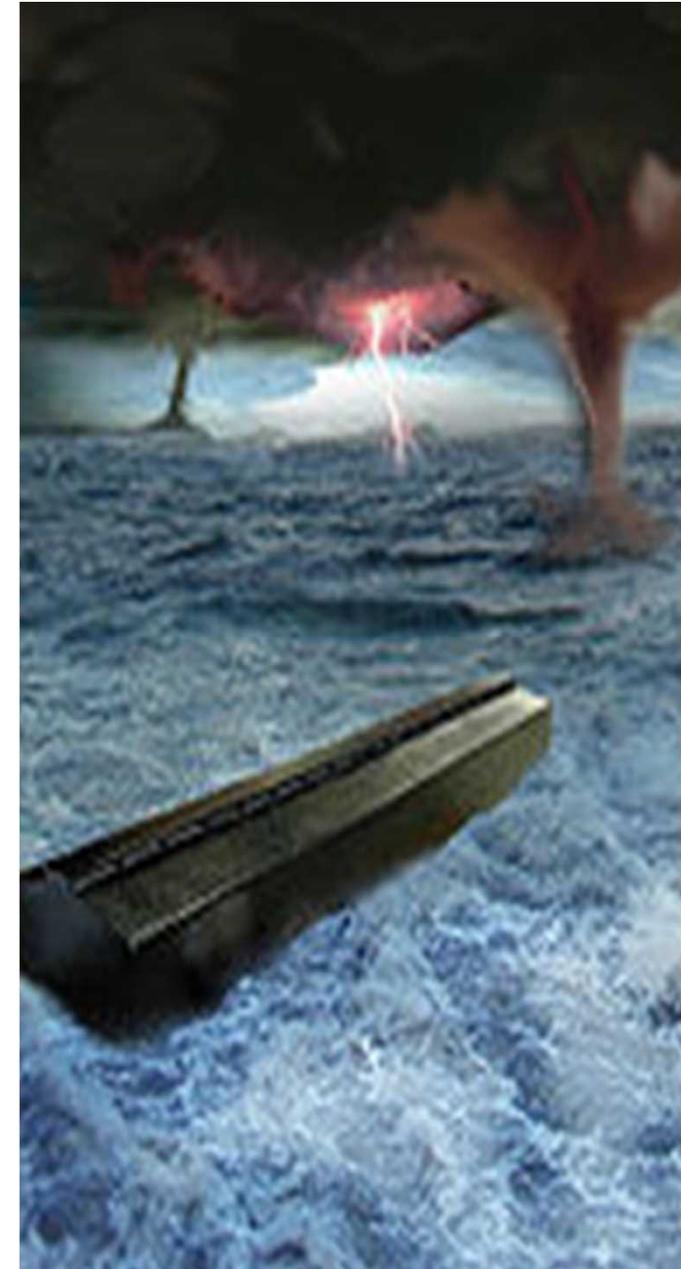
【神の救いの約束・アダム契約】

- 罪を犯し、呪われた人間に、神は、メシア(救い主)を送ることを約束された。
- メシアは、女の子孫から誕生し、命と引き換えに悪魔を打ち倒し、人間を罪の苦しみから解放する。



【大洪水の裁き】

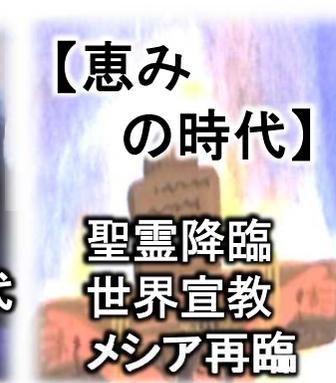
- 神は、人間の良心に世界を委ねた。
- 人類は罪を極め、悪霊と交わるほどに墮落。
⇒メシア誕生を阻止するサタンの働き!!
- 神は、120年後の裁きを告げた。
- 箱舟を造って乗り込んだ、
ノアと家族8人だけが救われた。
- 一年以上の大洪水により、地上は激変。
爪痕の上で、人類の新しい歩みが始まった。



【バベルの塔事件】

- 人は、集まって都市を築き、巨大な塔を建て、力を誇り、自らが神になろうとした。
- 放置すれば、再び世界を裁かねばならないことに。
- 神は、人の言葉をバラバラにし、世界に散らした。
- 散らされた人類は、各地に小さなバベルの塔を築いたのだろう...





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの
塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン
契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

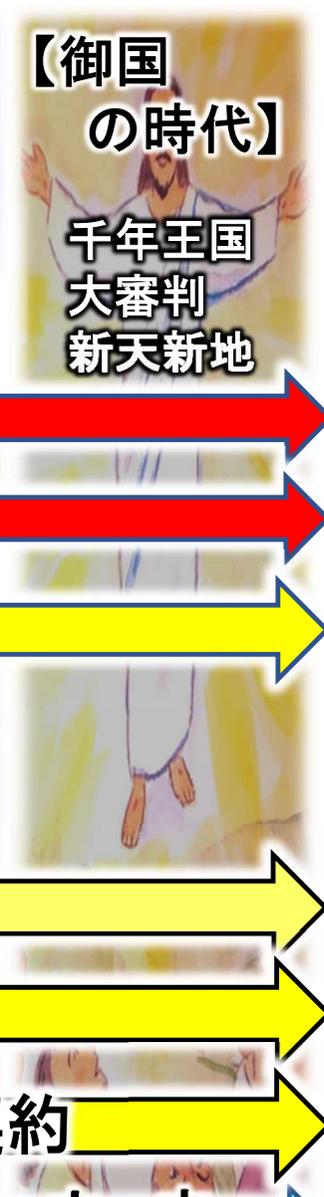
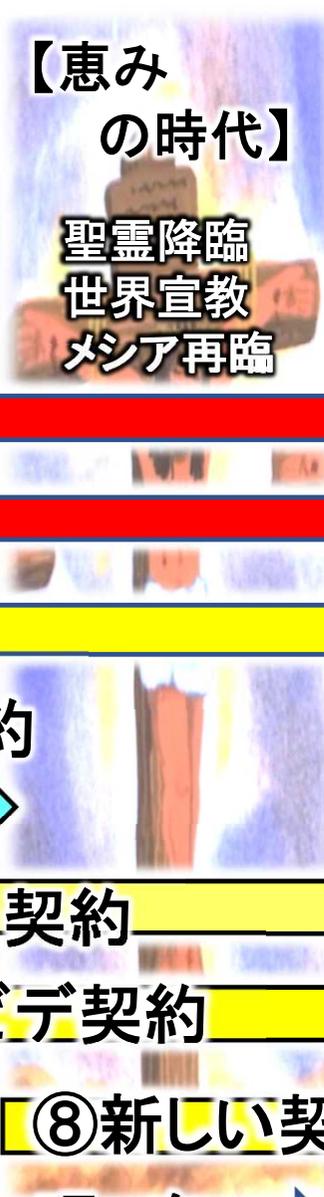
⑧新しい契約

【ディスペンセーション】
七つの時代区分と
八つの契約

過去

現在

未来



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

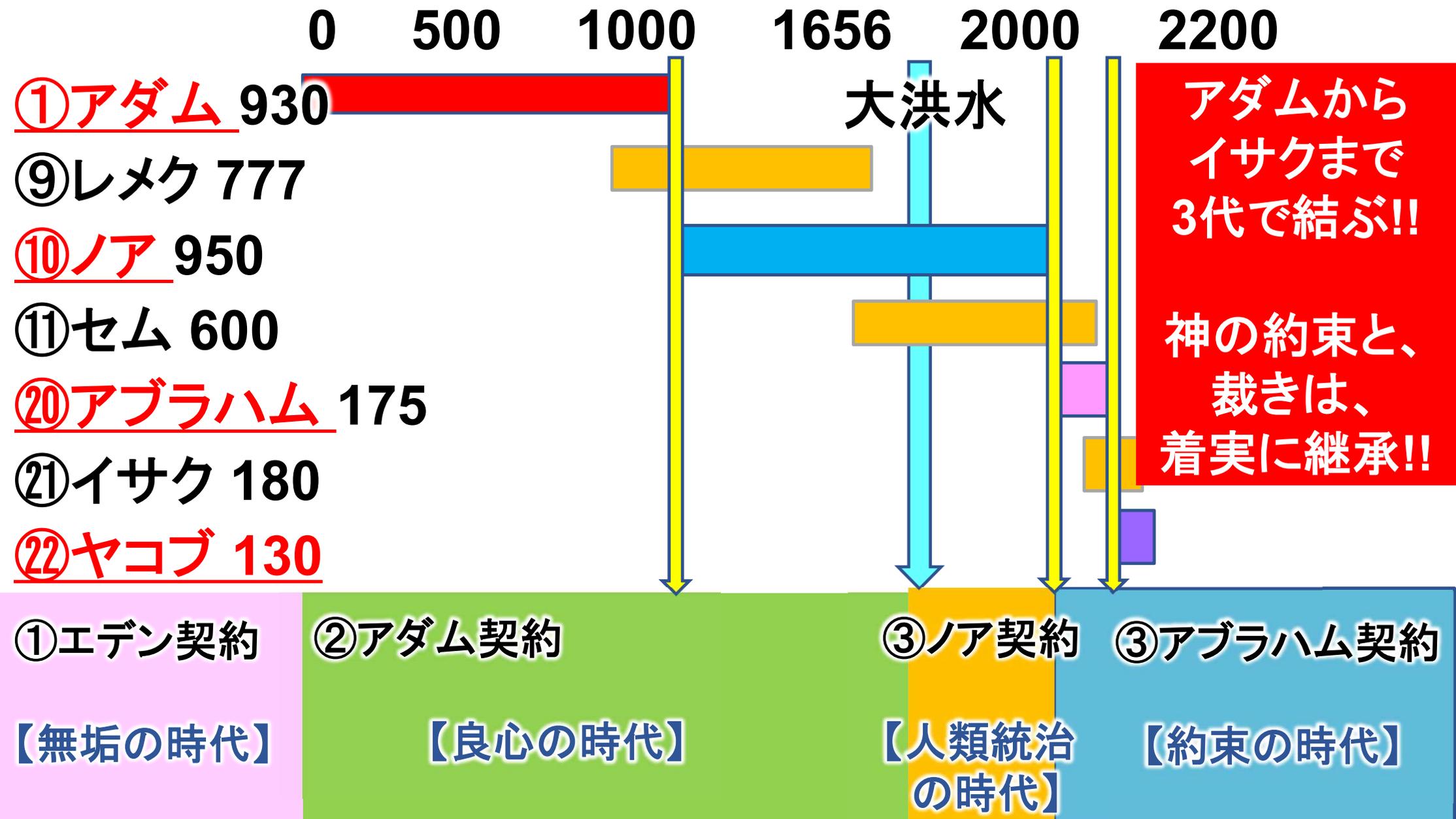
⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来



【創世記11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。



②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。



③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人類の良心も、組織も、世界を正しく治められなかった。
人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!

では、いったい、どうしたら？ 人類の希望はどこに？

創 3:15

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく」

…子孫の約束は、守られ、受け継がれていった。

創世記11:26

「テラは七十年生きて、アブラムとナホルとハランを生んだ。

受け継がれる
メシアの希望!!

ノア

ヤペテ

セム

ハム

カナン

ミツライム

ニムロデ

ペレグ

レウ

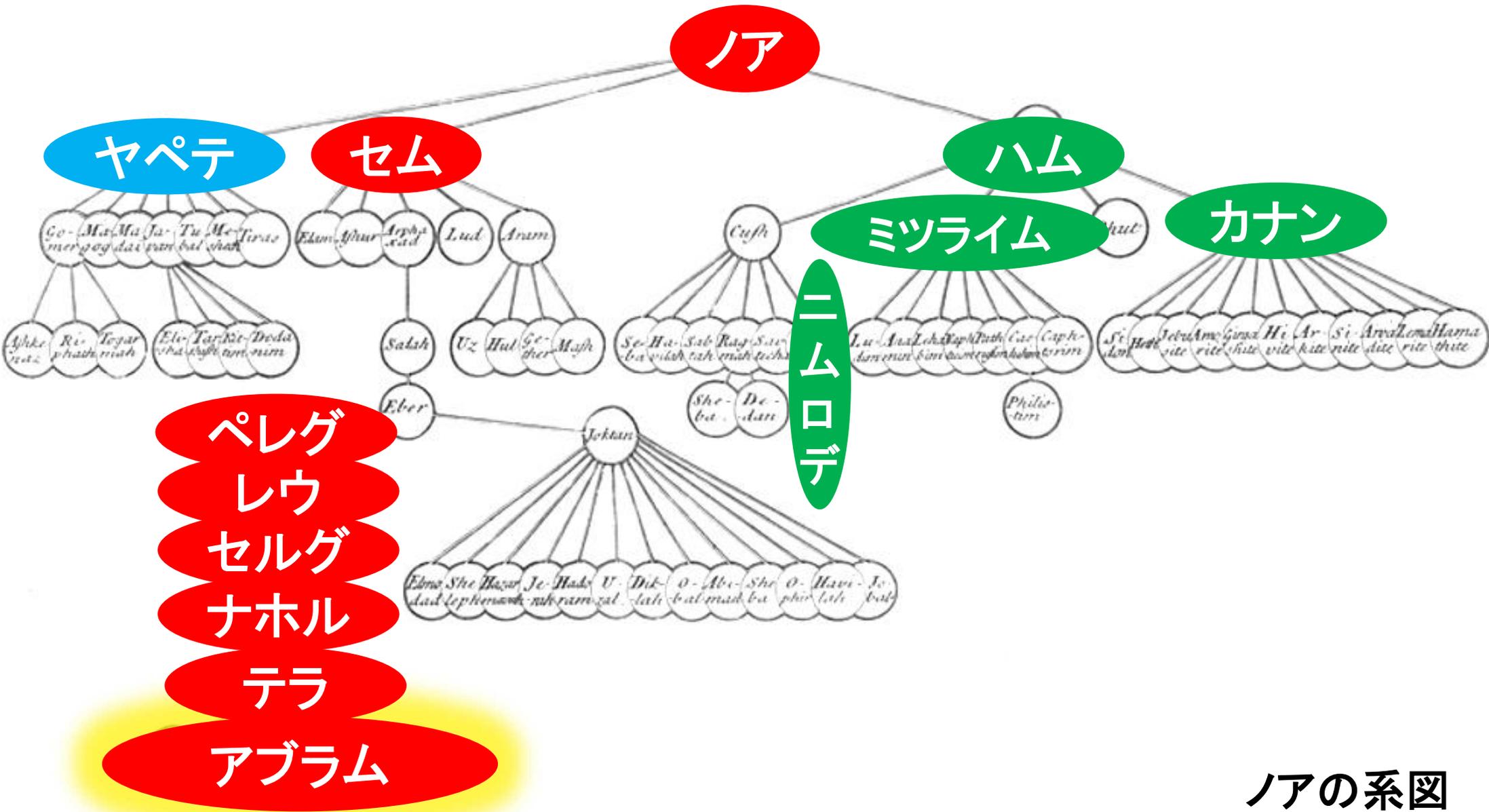
セルグ

ナホル

テラ

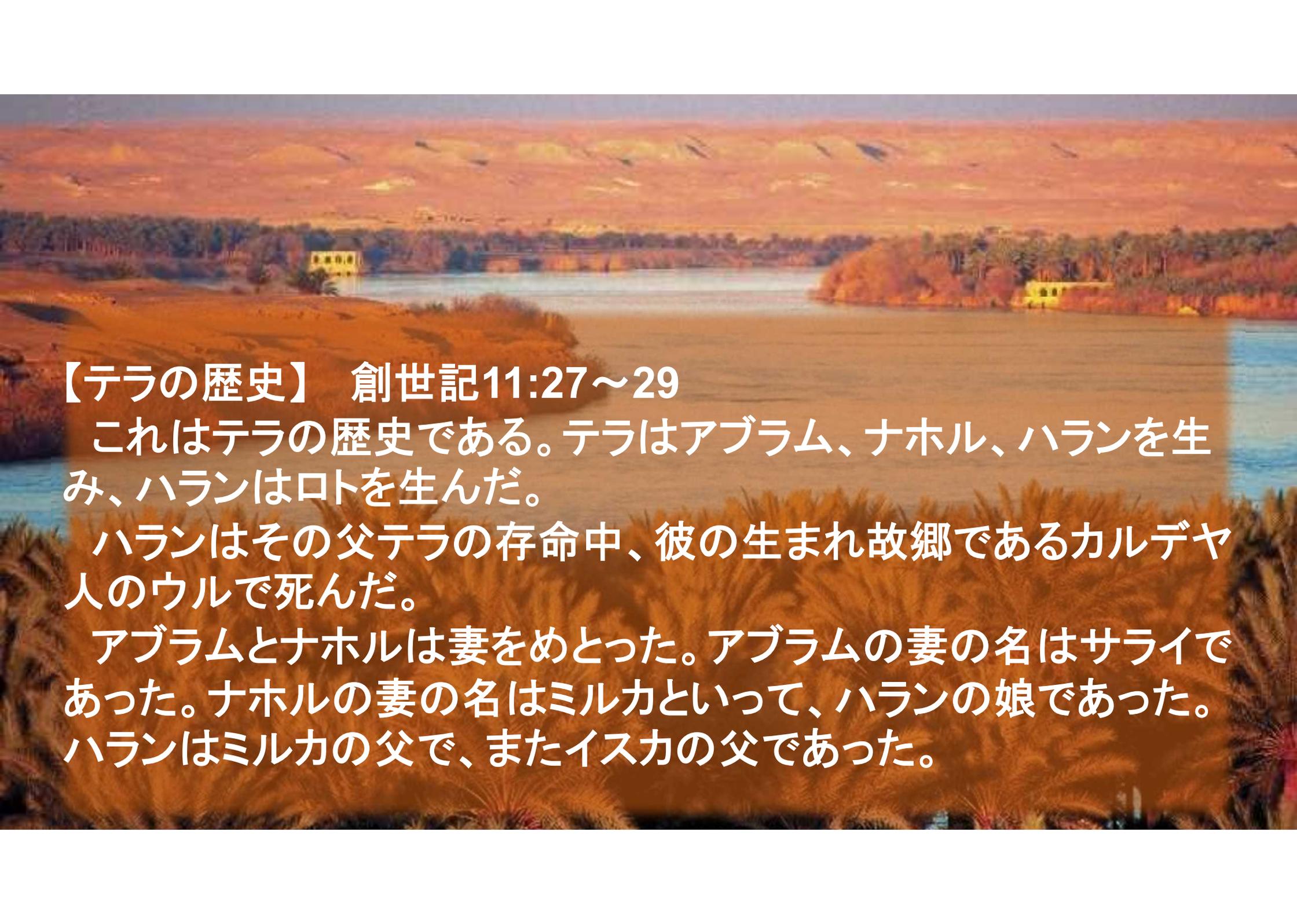
アブラム

ノアの系図



【創世記1~11章までのトルドット・時代区分】

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| ①2:4~4:26 | 「これは天と地が創造された時の <u>経緯</u> である」 |
| ②5:1~6:8 | 「これはアダムの <u>歴史</u> の記録である」 |
| ③6:9~ | 「これはノアの <u>歴史</u> である」 |
| ④10:1~ | 「これはノアの息子、セム、ハム、ヤペテの <u>歴史</u> である」 |
| ⑤11:10~ | 「これはセムの <u>歴史</u> である」 |
| ⑥11:27~ | 「これはテラの <u>歴史</u> である」 |

A landscape painting of a river valley. In the foreground, there are several palm trees. A wide river flows through the middle ground. On the left bank, there is a small yellow building. On the right bank, there is a larger yellow building surrounded by trees. The background shows rolling hills under a warm, orange sky, suggesting a sunset or sunrise.

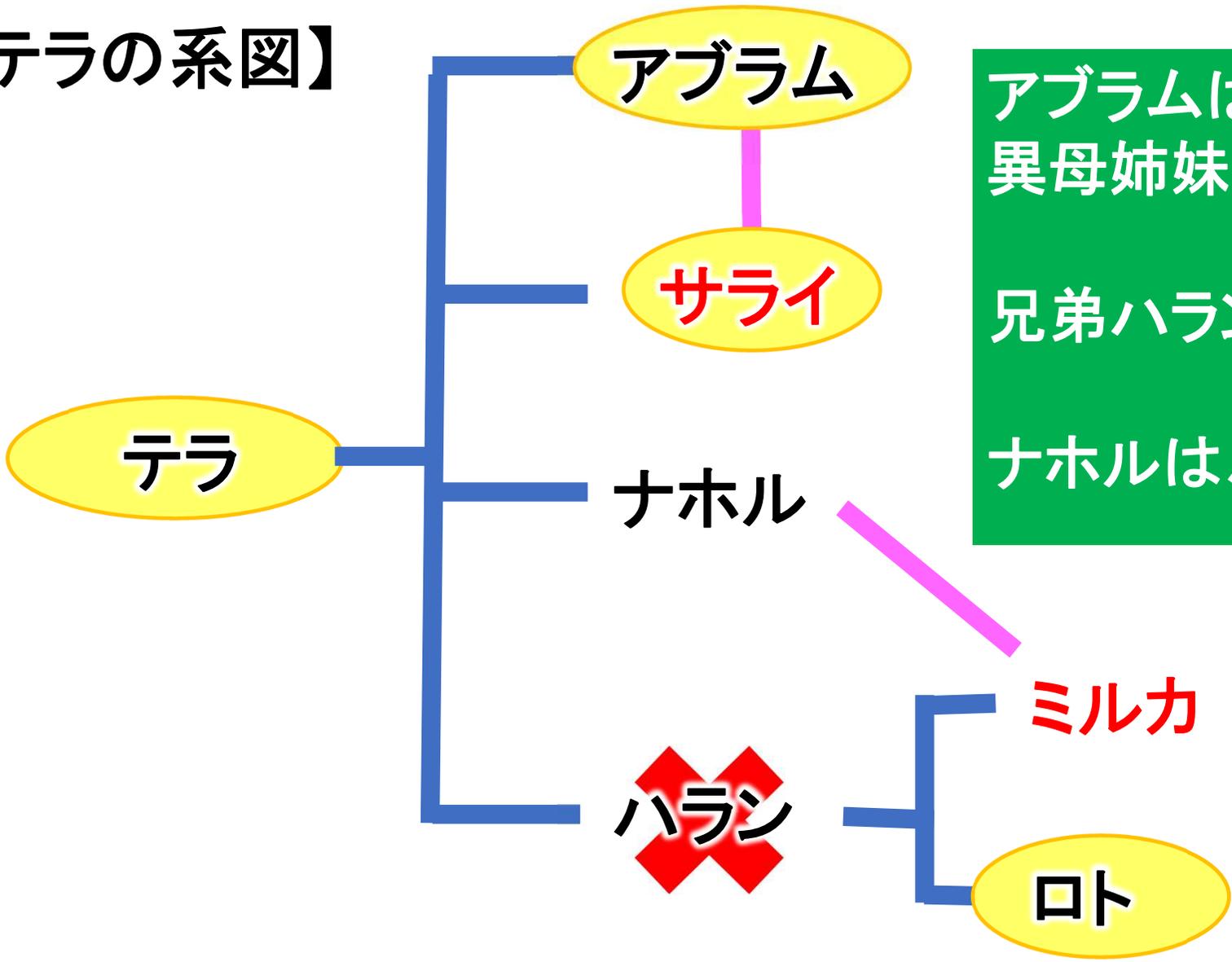
【テラの歴史】 創世記11:27～29

これはテラの歴史である。テラはアブラム、ナホル、ハランを生み、ハランはロトを生んだ。

ハランはその父テラの存命中、彼の生まれ故郷であるカルデア人のウルで死んだ。

アブラムとナホルは妻をめぐらした。アブラムの妻の名はサライであった。ナホルの妻の名はミルカとあって、ハランの娘であった。ハランはミルカの父で、またイスカの父であった。

【テラの系図】



アブラムは、
異母姉妹のサライと結婚。

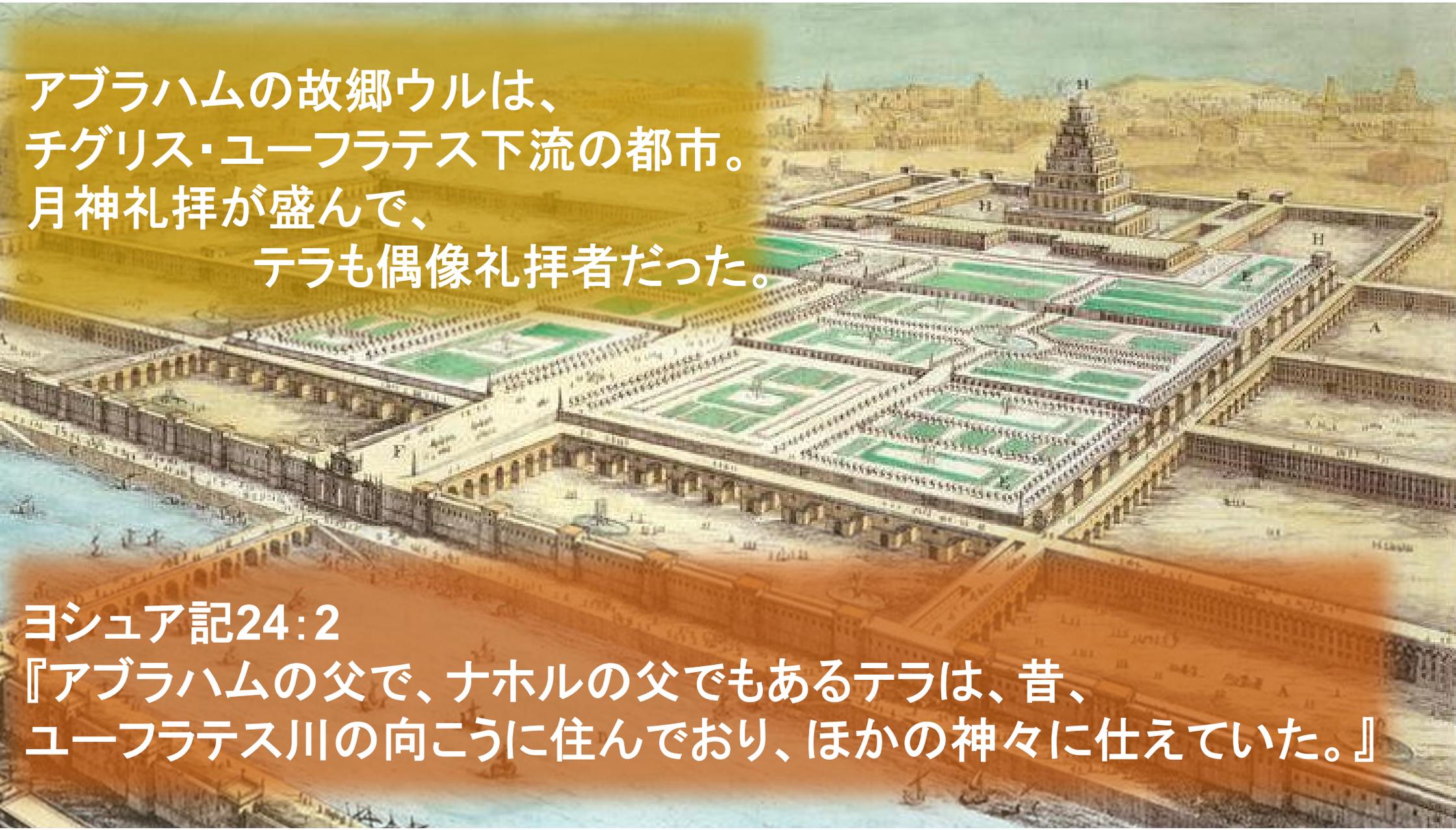
兄弟ハランは、ウルで死去。

ナホルは、姪ミルカと結婚。

アブラハムの故郷ウルは、
チグリス・ユーフラテス下流の都市。
月神礼拝が盛んで、
テラも偶像礼拝者だった。

ヨシュア記24:2

『アブラハムの父で、ナホルの父でもあるテラは、昔、
ユーフラテス川の向こうに住んでおり、ほかの神々に仕えていた。』



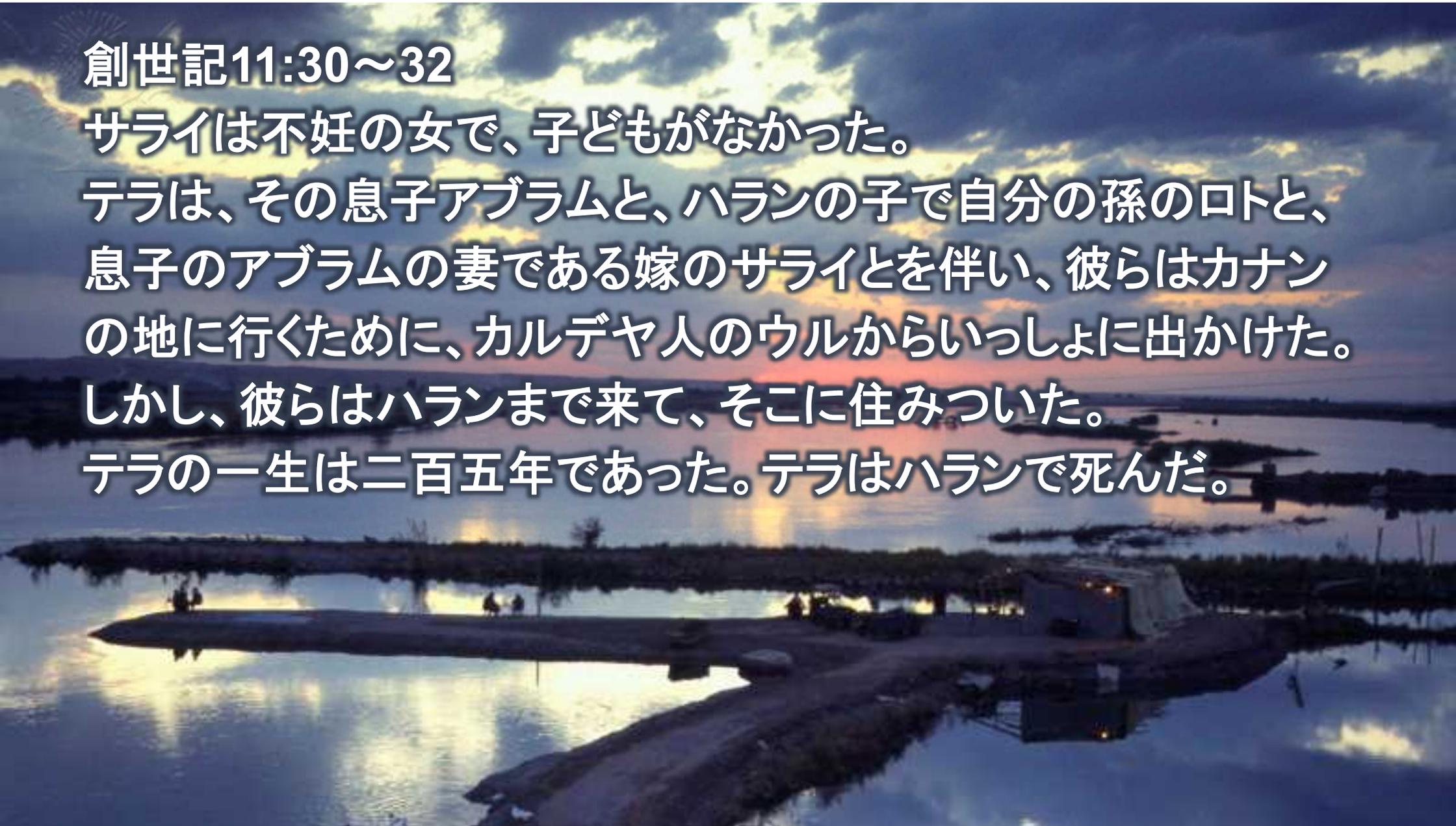
創世記11:30～32

サライは不妊の女で、子どもがなかった。

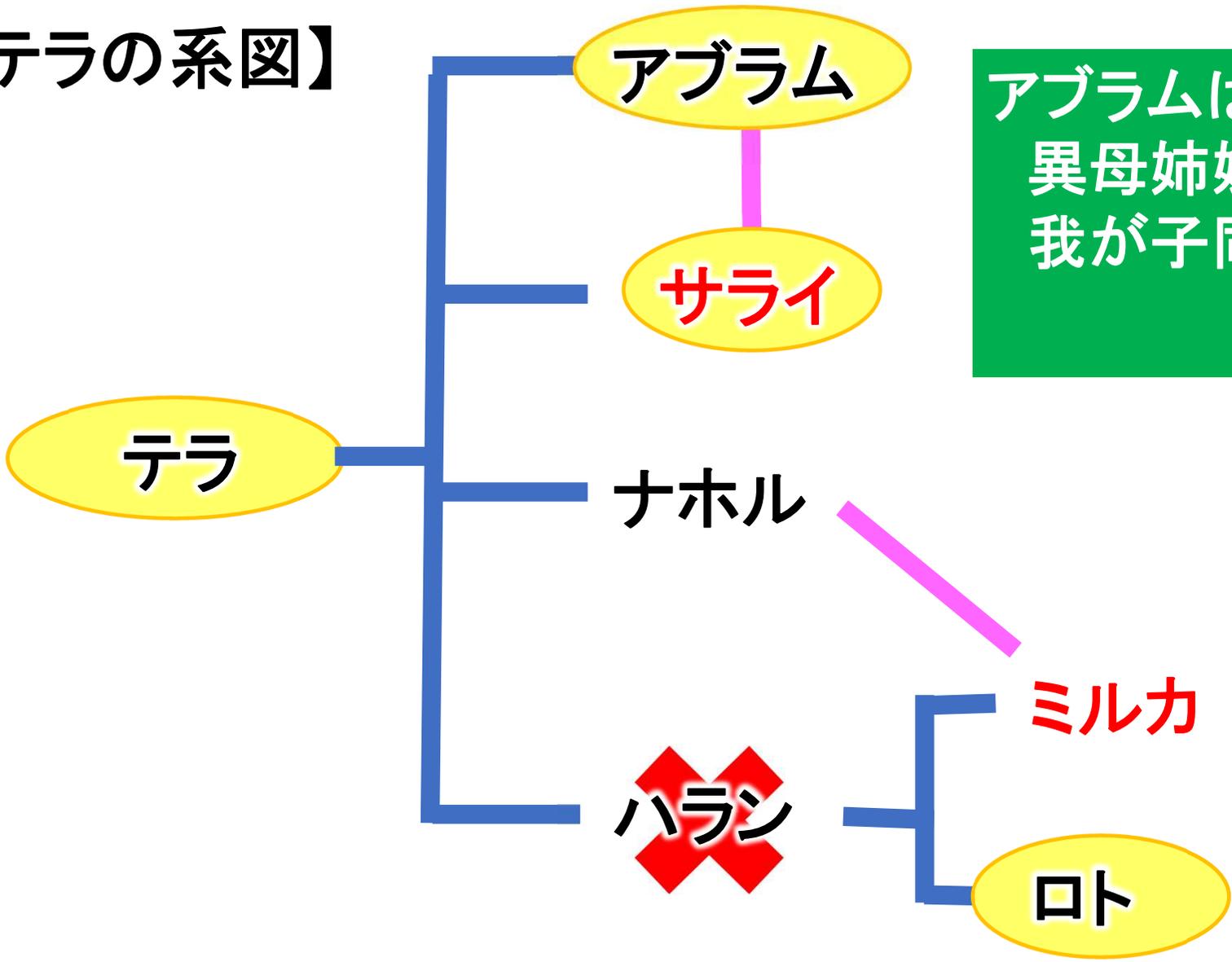
テラは、その息子アブラムと、ハランの子で自分の孫のロトと、息子のアブラムの妻である嫁のサライとを伴い、彼らはカナンの地に行くために、カルデヤ人のウルからいっしょに出かけた。

しかし、彼らはハランまで来て、そこに住みついた。

テラの一生は二百五年であった。テラはハランで死んだ。



【テラの系図】



アブラムは、
異母姉妹の妻サライと
我が子同然の甥ロトを
連れて旅だった。

I. アブラハムの召命

創世記12:1~8



【神の第一の命令】 創世12:1

【主】はアブラムに仰せられた。

**「あなたは、あなたの生まれ故郷、
あなたの父の家を出て、わたしが示す
地へ行きなさい。」**

※神が求めたのは、分離(聖別)。

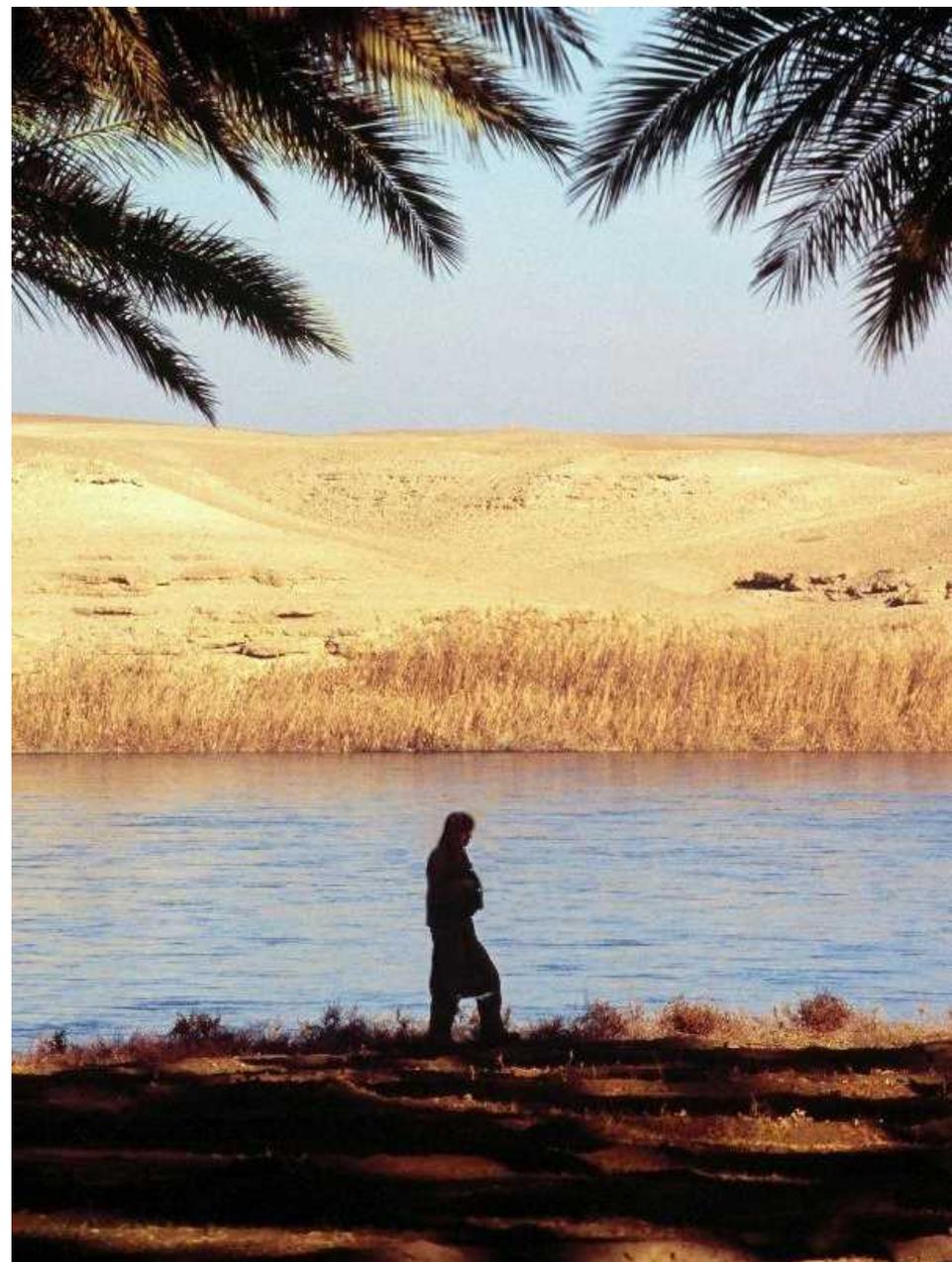
月神礼拝と、偶像礼拝者の父からの。

※レフレハ ...あなたのためだから

行きなさいということ!!

■行き先は分からない。

ただ、主に従うことが求められた。



【第二の命令】 創世記12:2

そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。

※大いなる国民 ⇒ 後のイスラエル民族

※祝福 ⇒ 霊的、物的祝福

※大いなる名

⇒ ユダヤ教、キリスト教、イスラム教

それぞれにとっての信仰の父に!!

※祝福の源となりなさい(新共同訳)

⇒ アブラハムに与えられた使命。



【付帯条項】 創世記 12:3

■「あなたを祝福する者をわたしは祝福し、
■あなたをのろう者をわたしはのろう。」

■神の民を保護するための諸民族への命令
アブラハムと子孫イスラエルに適用される。

■“アブラハムと、その子孫を
軽んじる者は、神の祝福から除外される”

例) 多くの帝国の繁栄と衰退の影に....
スペイン、英国、米国....



【全民族への祝福】 創世記 12:3

「地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

■ アブラハムの子孫から現れるメシアによって全人類に、救いの道が開かれる!!

ガラテヤ3:8『聖書は、神が異邦人をその信仰によって義と認めてくださることを、前から知っていたので、アブラハムに対し、「あなたによってすべての国民が祝福される」と前もって福音を告げたのです。』



Ⅱ. 約束の地で 最初の礼拝

創世記12:4～8



【アブラムの旅路】

総行程 約2,000km

5~6年かけて？

■ハラン

父、兄弟ナホルと別離

■ユーフラテス

ダマスコ

■シェケム 最初の礼拝

■バビロン

■ウル

創世記 12:4 アブラムは【主】がお告げになったとおりに出かけた。ロトも彼といっしょに出かけた。アブラムがハランを出たときは、七十五歳であった。

【呪われた民の地】 創世記 12:5~6

アブラムは妻のサライと、おいのロトと、彼らが得たすべての財産と、ハランで加えられた人々を伴い、カナン¹の地に行こうとして出発した。こうして彼らはカナン²の地に入った。

アブラムはその地を通って行き、シェケムの場、モレの檜の木のところまで来た。当時、その地にはカナン人がいた。

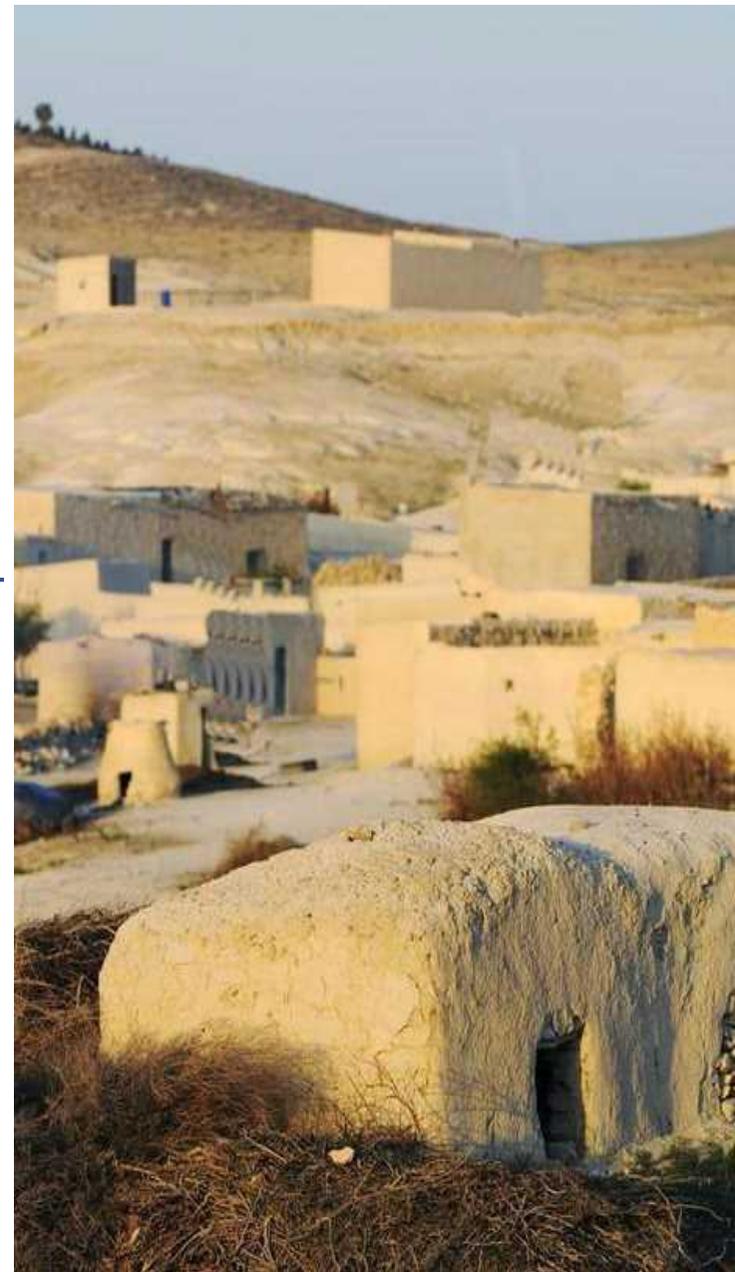
※約束の地は、無人ではなかった。

呪われた民、カナン人が栄えていた!!

※モレの檜の木 ⇒ カナン人の偶像礼拝の聖地

■ 神は、この世のただ中へ、

聖別された信仰者である私たちを遣わされる!!



【世のただ中での礼拝】 創世記 12:7

そのころ、【主】がアブラムに現れ、そして「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える」と仰せられた。アブラムは自分に現れてくださった【主】のために、そこに祭壇を築いた。

※神の顕現と二度目の呼びかけ

⇒最初の土地の約束

※祭壇を築いた ...犠牲の動物を献げた。

⇒血は血によってのみ贖われる(救いの原則)

■アダム以来の贖いの原則、メシアの約束は、アブラムにも、着実に受け継がれていた!!



【カナンでの最初の礼拝】 創世記 12:8

彼はそこからベテルの東にある山のほうに移動して天幕を張った。西にはベテル、東にはアイがあった。彼は【主】のため、そこに祭壇を築き、【主】の御名によって祈った。

※主の御名によって祈った

⇒カナンの地で、公の礼拝を始めた。

礼拝とは、御名の宣言を伴う、公のもの!!

■個人的に神との交わりを深める祈りの時

■公に主を讃え、宣言する礼拝の時。

⇒この二つの時が、信仰者には必須!!



I. エジプトでの事件

創世記12:9~20



【試される信仰】 創世記12:9～10

それから、アブラムはなおも進んで、ネゲブのほうへと旅を続けた。さて、この地にはききんがあったので、アブラムはエジプトのほうにしばらく滞在するために、下って行った。この地のききんは激しかったからである。

※ききん ...イスラエルの乾季(4～10月)?

7ヶ月間雨が降らない!!

※エジプト ...ナイル川による豊かな地。

水も食料も絶えることがない!!

神は、豊かな地エジプトへ行けとは、言われなかった!!



【アブラハムの恐れ】 創世記 12:11～12

彼はエジプトに近づき、そこに入ろうとするとき、妻のサライに言った。「聞いておくれ。あなたが見目麗しい女だということを私は知っている。

エジプト人は、あなたを見るようになると、この女は彼の妻だと言って、私を殺すが、あなたは生かしておくだろう。

※サラ、65歳 ...当時の寿命は倍。30～40歳？

※美しい人妻の略奪は珍しくなかった？

⇒エジプトの現実。欲望渦巻く、力の世界。

大洪水前、バベルの塔の時代を彷彿と!!



【アブラハムの策略】 創世記 12:13

どうか、私の妹だと言ってくれ。そうすれば、あなたのおかげで私にも良くしてくれ、あなたのおかげで私は生きのびるだろう。」

■ 美しすぎる妻がアブラハムの悩みの種に!!

※ サライは、アブラハムの異母姉妹

「妹だ」というのは、半分ホント、だが...

「妻」という重要な事実をごまかしている

⇒ 紛れもなく、嘘。

※ 兄なら、花嫁交渉をする余地があった。

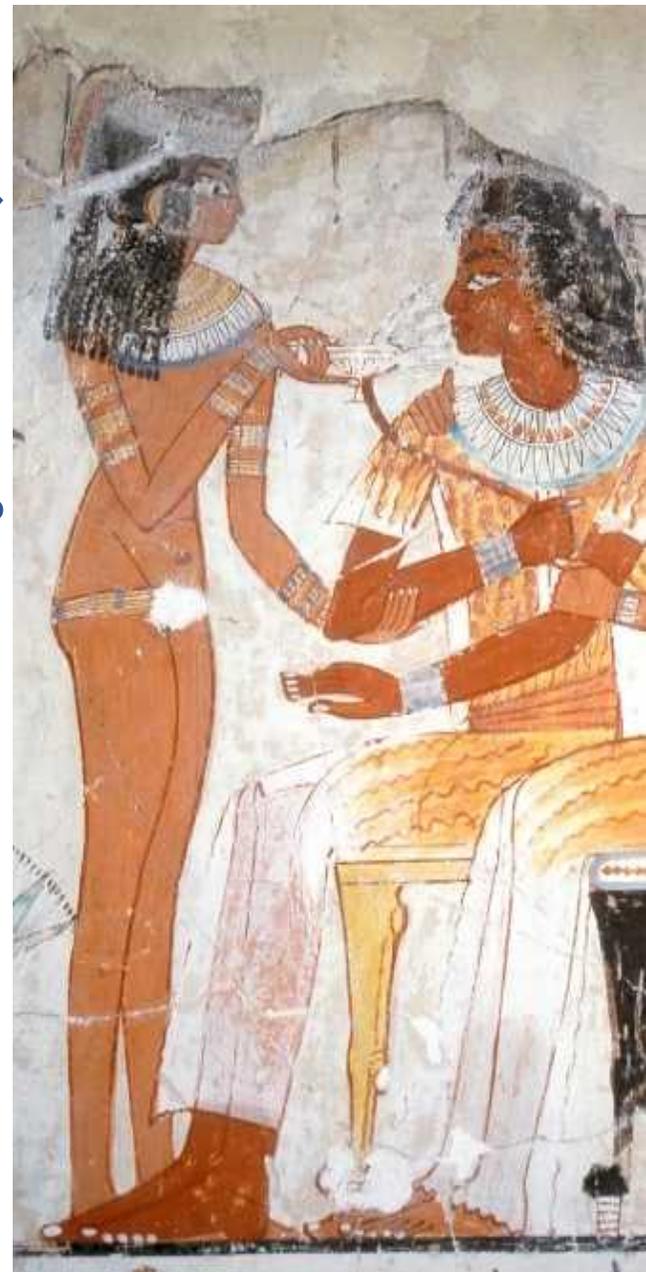


【サライの危機】 創世記 12:14~16

アブラムがエジプトに入って行くと、エジプト人は、その女が非常に美しいのを見た。

パロの高官たちが彼女を見て、パロに彼女を推賞したので、彼女はパロの宮廷に召し入れられた。パロは彼女のために、アブラムによくしてやり、それでアブラムは羊の群れ、牛の群れ、ろば、それに男女の奴隷、雌ろば、らくだを所有するようになった。

※パロ(エジプト王)の側室に召し抱えられたサライ
※多額の花嫁料がアブラハムに支払われた。



【神の介入】 創世記 12:17

しかし、【主】はアブラムの妻サライのことで、パロと、その家をひどい災害で痛めつけた。そこでパロはアブラムを呼び寄せて言った。「あなたは私にいったい何ということをしたのか。なぜ彼女があなたの妻であることを、告げなかったのか。なぜ彼女があなたの妹だと言ったのか。だから、私は彼女を私の妻として召し入れていた。しかし、さあ今、あなたの妻を連れて行きなさい。」

※ユダヤの伝承では、重い皮膚病。



【エジプト脱出】 創世記 12:20

パロはアブラムについて部下に命じた。彼らは彼を、彼の妻と、彼のすべての所有物とともに送り出した。

※無事に返されたサライ。花嫁料もそのまま。
⇒パロは、アブラムの神を恐れた!!

■責任が一番重いのは？

なぜ、アブラムは、守られた？

神の一方的な約束が、アブラムを守った!!

無条件契約である、神の約束の確かさを、
アブラムは、経験を通して学んでいく...



IV. まとめと適用

主に従うとは？
選びの民の使命と試練



【アブラムの歩みを振り返る】

- 神は、「あなたのためだから、行きなさい」とアブラムに告げられた。
アブラムと、子孫と、全民族への祝福が約束された。
- アブラムは、偶像礼拝と決別し、行き先も知らぬまま、旅だった。
- 約束の地は、邪悪な偶像礼拝者、カナン人の土地だった。
その地で、アブラムは主を讃え、公の礼拝を献げた。
- アブラムは、危機の中で、自らの知恵に頼って失敗した。
それにも関わらず、神の約束のゆえに、アブラムは守られた。
- 無条件契約である神の約束の確かさを、アブラムは教えられた。

【私たちクリスチャンの歩み】

- 福音を信じて、信仰と恵みによって救われた私たちに、
主イエスは、行って、すべての人を主の弟子とするよう命じられた。
- 私たちは、聖霊の住まわれる宮とされ、聖別された。
- 私たちが遣わされているのは、サタンが支配する世のただ中。
世のただ中で、私たちは主を讃え、公の礼拝を献げる!!
- 私たちは、自らの知恵に頼れば失敗する。一人では、信仰は成長しない。
日々、御言葉に親しみ、聖書の理解を深め、兄弟姉妹と励まし合おう!!
- 神の国の永遠の民、キリストの花嫁とされた、約束の恵みを味わおう!!

「天のお父さま。

あなたは、あなたに逆(さか)らい続(つづ)けていたわたしを、
主イエスによってゆるし、和解(わかい)してくださいました。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

わたしは、主によって聖別(せいべつ)されたものとして、

世(よ)のただなかで 主を礼拝(れいはい)します。

福音宣教(ふくいんせんきょう)のために、

ここから遣(つか)わしてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。 アーメン」